1 月 22 日（午後 8 時）（23 日午前 10 時）「日米韓国際シンポジウム－核兵器禁止条約発効後の課題と展望－」

発言草稿

ケヴィン・マーティン(Kevin Martin)（ピースアクション代表）

2021 年 1 月 11 日

核兵器禁止条約の発効という、喜ばしい機会に行われるシンポジウムにパネリストとしてお招きいただき感謝します。原水禁と参与連帯の友人たちとご一緒できることに、誇りを持っています。特に原水禁の秋葉元広島市長の長期的にわたる核なき世界へのリーダーシップに敬意を表します。

怖ろしい国、衰退がすすむ破綻した超大国、ばらばらになったアメリカ合衆国からご挨拶します。

私は自分の国をこう呼ぶのは、軽薄だからではありません。いま私たちが直面する内外からの深刻な危険があると、伝えたいからです。私はかつてアメリカが新たな「南北戦争」、内戦に陥るという警告を、大袈裟だと考えてきました。しかしいま私は、そうではないという恐れをいだいています。10 年前後前までは、私はジョアン・ガルトゥング（Johann Galtung）のアメリカ共和国の繁栄に導く、アメリカ帝国の衰退という考えを肯定的に受け止めていました。しかし、この危機において、何かより悪いものに面しているという怖れをいだいています。いまこの発言原稿を事前に準備しながら、1 月 20 日、第 46 代バイデン大統領の就任をめぐり、1 月 6 日に私たちが目撃したアメリカの首都での暴力より悪いことが起こらないということが、確かではないのです。

このまま無事に済めば（もし私が本日 23 日シンポジウムに参加していれば無事ということです！）、核軍縮、平和、社会的公正を進めるよう主張する人たちは、（望むらくは）いま去りつつある前大統領の悲惨な支配下よりも、活動空間を拡大できることになります。しかしそれは容易なことではありません。またバイデンと行政府がわれわれの取り組むすべての問題について、同盟者になるわけではありません。

いつもながらに、新政権と新議会は外交政策よりも国内問題に焦点を当てるでしょう、しかも我が国と経済にコロナパンデミックが猛威をふるっているので、なおさらです。それでも世界平和のためのいくつかの重要な分野で、素早い取り組みと勝利を確実にできるようにできることがあるのです。

・新 START を延長、望むらくはそれ以上にロシアとさらなる核兵器削減をすすめる

・残虐なサウジ主導のイエメンでの殺戮へのアメリカによる支援を止めさせ、さらにこの酷い戦争を終わらせる平和協定を仲介する
・イラン核合意に復帰する、しかし強力な反対勢力が存在している。
・中東でのアメリカの軍事的存在をさらに低下させる
・パリ協定への復帰

ここであげたすべてについて、早期で簡単に実現できる保証はありません。しかしことを複雑にしてはなりません。要求されている行動は、直進です。バイデンには期待通り、これらを優先してもらわねばなりません。ピースアクションはアメリカで最大の平和・軍縮組織としてこれらを強く押し進め、同様に朝鮮半島での平和外交を擁護し、国防総省の膨大な予算を削り、パレスチナ/イスラエルの平和と正義の実現を推し進め、警察を非軍事化し、その他の課題とともにすすめていきます。

核軍縮
私たちが核禁条約がアメリカ政府の政策に即時に影響することを期待していない、としても驚くべきことではありません。しかし、この条約は平和擁護運動を押しあげる、歴史的な到達点であり、アメリカでは地域のピースアクションや他団体がお祝いのイベントを行っています。アメリカでの政策について、進めていく方針については、どれが優先されるものについてはご存知かと思います。

・ロシアとの新 START の延長､望むらくは超えてロシアとさらなる核兵器削減をすすめる。新たな核軍拡競争を続けるのは危険が大きく、持続不可能であり、コストがかかる
・先制不使用政策の促進
・いかなる大統領でも単独で核戦争を始められる個人的権限を廃止する
・オバマ大統領からはじまり、トランプによって徐々に増加された、いわゆる核兵器「近代化」のための予算を大幅削減する。30 年以上の予測された 2 兆ドルという費用は法外である。しかしこの事柄は国内で重要なだけではない。すべての核兵器国が核弾頭の向上に取り組んでいるため、グローバルな平和と安全保障を左右する問題である。

核兵器政策と関わる他の問題も、おそらく中心課題になるでしょう。もし NPT 再検討会議が 8 月に国連で本当に行われるとすれば、新政権がどのように臨むか、興味深いものになるでしょう。多くの課題が提起されますが、アメリカや他の核兵器国の第 6 条に基づく核軍縮への関与の不協力（不実行)、中東や北東アジアでの非核兵器地帯の成立の失敗や核弾頭性能向上への投資は、憤激を引き起こし再検討会議の国際的な協議の場としての役割を低下させることになるでしょう。もちろん条約が無効になることはないと思います。

こうした課題について、アメリカの平和擁護団体は直接新政権と協働するでしょう。しかし、少数の共和党メンバーを含む、こうした問題に取り組む議員とも協働します。世論の圧力は常にもちろん必要です。しかしそれはたんに活性化ということです。説得力にはなりません。一般的にアメリカの世論はこうした課題でわれわれを支持します、あるいはより指導力が発揮されたり、こうした問題に注目が集まれば支持するということです。

国防予算

地球規模のパンデミックの真っ只中にあり、アメリカ政府と「保健システム」が悲惨にも人々を保護したり対応できるようになるのに失敗している時に、より緊急の人間への、環境への、経済への支援を優先するために、怪物的に巨額な軍事予算の削減は緊急に行うべきことだと思うでしょう。違いますか？昨秋、バーニー・サンダース上院議員と固く連携している議員が、議会両院に国防支出をパンデミック対策と、経済的に困窮するアメリカ人の支援のために 10%削減する法案を提出しました。悪役(bizarre ）が活躍するワシントン政治において、10%の削減はもちろんこの危機を解決するにはめちゃくちゃ少額ですが、しかし政治的にはそれが実現可能ではないのです。上院で私たちは 100 議席の内 23 を得ました。これは失望する数だと思います。しかしアメリカの軍国主義の強さを考えれば、多くの仲間が驚き、喜ぶほどの多くの賛成票だったのです。

現在進行するパンデミックと経済危機は、確実に（財政）優先度を正気で判断する機会をもたらすでしょう。そしてこれから上院予算委員会委員長に、サンダースがなります、こうした問題を提起するのにより有利な立場になります。しかし平和と正気がワシントンに入り込み、実に不愉快な軍事予算に切り込めるか自信を持って予測できないのです。そしてバイデン自身は、即座に国防予算が実際には増加するとコメントしています。

朝鮮半島/中国/アジア太平洋地域の動態

予測不可能な政権の後、多くの外交分析専門家はより伝統的な国際外交への復帰を予測しています。それは一般的には、肯定的な動きであると思います。しかし、伝統的外交といわれるものは、ネオリベラル思考により地球レベル、地域レベルでのアメリカの権力行使と支配が狭く制約されています。朝鮮半島での外交については、外交分析専門家はバイデンが優先的に取り組むと予測していません。これは懸念すべきことです。彼が日本と韓国との同盟関係を優先すると表明しているからです。そしてより大きな問題は（私の中では運が尽きている）強硬な中国封じ込めです。ワシントンのエリートの間では、驚くようなことではない、すでに合意済の立場なのです。

もちろん、平和活動家である私たちは、しばしばエリート間での合意に反対の立場を取ります。それとは異なる、すべての国々と地域のすべての人の利益になる政策を推進しよ

うとします。私たちは、米中の地域レベル、地球レベルでの軍拡競争の加速が、一般のアメリカ人、中国人、日本人、韓国人、ロシア人、そして誰にとっても利益にならないことを明らかにしないとなりません。

より広い文脈でのアメリカの戦争機械によって促進される中国との苛酷な長期的対峙が何であれ、朝鮮半島での和平の機会を、妨げるものであってはなりません。韓国系アメリカ人はアメリカ国内で、朝鮮戦争を終結させる和平合意実現のための、指導性と活動力の準備を強力に進めています。ホワイトハウスにいるのが誰であれ、議会を支配しているのがどの党であれ、妨げられないでしょう。私はこうした活動家や組織と、Korean Peace Network のコーディネーターとして、協働しているのを誇りに思います。

志を同じにする議員と一緒に、再度朝鮮戦争終結の法案を提出します。バイデン政権に直接交渉（韓国の指導者文在寅大統領を支持して）するよう押し上げます。また時を置かず韓国市民社会グループや国際支援団体（原水禁や他の平和団体の参加を要望します）が一緒にアメリカ政府と韓国政府に計画されている大規模合同演習の中止するよう働きかけるキャンペーンを行うことを発表します。そしてもちろん私たちはあなた方が日本政府にもっと平和で建設的な政策を行うよう働きかけることを、わかっています。この春、再度「朝鮮（半島）平和擁護ディ」を組織し、私たちの懸念を直接議員とそのスタッフに伝えます。彼らはしばしば嘆かわしいほど朝鮮半島問題を無視するのです。いま話した問題に加えて、私たちは韓国系アメリカ人とともに南北の人々を痛めつける旅行禁止を止めるように、働きかけます。

私はより優れた水晶玉（予言のための）を持っていなことをお詫びします。半年後、あるいは 3 カ月、4 か月後に全く異なった、情勢の発展についての見解を持っているかもしれません。しかし、あなた方の現在の活動に感謝しています。ピースアクション、原水禁、参与連帯、そして他の団体のパートナーシップは、大きな意味を持ちます。より平和で公正な世界のために、より協力を強める対話を未来にむけて進めていきましょう。